

取組事例

Step

1

脱炭素化に向けた意識醸成・体制整備

羽後ガス株式会社（燃料小売業）

CO₂排出量の見える化からはじめる脱炭素の取組

事業活動の脱炭素化に向けた取組

CO₂排出量の可視化サービスの利用

- 「無理なく足元から脱炭素化に取り組みたい」という顧客のニーズに応えるため、2024年5月よりカーボンオフセットLPガスの取扱を開始
- カーボンオフセットLPガスの顧客への提案や問い合わせに対応するためには、自社での率先した取組や従業員の脱炭素への理解が重要と考え、取組に着手
- 自社のはじめの一歩として何が出来るかを取引のある金融機関からのアドバイスをもとに、視覚的に脱炭素化の成果を感じることができる「CO₂排出量の見える化」に取り組むこととし、CO₂排出量の可視化デジタルサービスを新たに導入



ポイント

- 「脱炭素経営への転換」と「新サービスのPR強化」の両立を目指す
- 視覚的に分かりやすく省力化につながる取組からスタートすることで、社員が受け入れやすくなるように配慮

メリット

- 社員が自分事として脱炭素化を意識し、理解するきっかけとなる
- 取組を通じて顧客に対する提案に説得力が生まれ、取扱商品の販売拡大につながることが期待される
- エネルギー利用傾向も把握することができるため、省エネを考える上で必要なデータを得ることができる

取組事業者より

脱炭素経営の実現に向けた今後の展望

もともとLPガスは、他エネルギーと比べてCO₂の排出量が少ないエネルギーであるため、引き続き「燃料油からLPガスへの燃料転換」や、環境性能が高い省エネ機器の普及に努め、脱炭素経営の一助としていきたいです。

また、今取り組み始めた「カーボンオフセットLPガス」のより一層の周知に努め、事業活動の脱炭素化に貢献していきたいと思っています。そのためにも、今後は「J-クレジット」の地産地消を目指すことで、横手市で生まれたJ-クレジットを使用することに価値を感じていただき、地域全体で盛り上げていけたらと考えています。



羽後ガス 株式会社
代表取締役 子野日 円美

〒013-0055 横手市朝日が丘三丁目1番53号
TEL.0182-32-0727 FAX.0182-32-1126

HP <https://ugogas.com/>

SNS

